



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事主題 「変化を楽しもう！」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「変化を恐れず、少しずつ」

2021年1月号

NO 532

「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、ともし火をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家の中のものすべてを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

マタイによる福音書5章13～16節

この大変な世の中で

会長 篠原文恵

暮からのTV報道で、日本海側の地方では、今年の冬は里帰りの子どもの応援がないからと言いながら、お年寄りの方が雪降ろしをしている画面を見ました。

幸い関東地方は好天続きで、停電もなく、暖かい寝床を持ち、スーパーに行けば食材の山に出会え、エッセンシャルワーカーのお陰で日常生活は不自由なく過ごせています。

この異常な1年でいかに普段何気なく享受していることが多かったかと気付かされました。

異変は昨年春、東京世田谷クラブとの合同例会の準備を進めていた矢先、武漢発のウイルスが

増え始め、例会も事務会も中止。

若いメンバーが多い他クラブでは、Zoomを利用しての例会、イベントの開催などに動き始めましたが、スマホ使用率も低いわがクラブはメール連絡がやっとという状況。

それでも新旧役員交代式、新主事の入会式は是非にでもと促され、8月に分不相応な広い会場で半年ぶりの再会をしました。しかしマスク着用での会話はマイクが必須、第2例会(事務会)でもフェイスシールド着用で意思疎通を図りました。

秋のあずさ部部会で久しぶりに大勢が集いましたが、また感染

者が増え始め、12月から例会は中止になり、昨年は顔を合わせての集会は半分以下に減ってしまいました。

普段なら、顔を合わせての会場で何気なく質問できていたワイズの決め事も、未熟な自分には迷うことが多すぎ、暗中模索の日々が続いています。

しかし、空から爆弾が落ちてくることもないし、人込みを避ければ命の不安もないので「笑う門には福来る」、無理にでも笑顔を作って、後半を乗り切りたいと思っています。

皆様、今年もよろしく願いいたします。

クラブ役員

- 会長 篠原 文恵
- 副会長 大野 貞次
- 書記 本川 悦子
- 会計 石井 元子
- 担当主事 横山 弥利

12月の記録		ニコニコ	
在籍者数	12人	メネット	1人
(内功労会員)	1人	クラブファンド(当月)	1円
出席者数	1人	コメント	1人
出席者数	1人	クラブファンド(残高)	1円
出席者数	1人	ビジター	1人
出席者数	1人	ホテ校ファンド(当月)	1円
出席率	1%	ゲスト	1人
出席率	1%	ホテ校ファンド(残高)	1円
前月修正	1	出席者合計	1人
		WHO 参加者	1人

1月例会は中止

1月例会は、日本大学文理学部社会福祉学科助教授・鴨澤小織先生をお迎えして、イギリスの高齢者の生活や政策を通して、日本の女性高齢者の状況、若年女性の抱える問題や、社会的弱者の語りから見える日本の問題点について伺う予定でした。

女性メンバーの多い当クラブには興味深い卓話でしたが、年末からの感染者増加により、例会中止を決めました。

—12月第2例会(事務会)—

日時：12月23日(水)

16:00~18:00

会場：ウェルファーム杉並

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、鳥越、本川、吉田

<会計報告>

別紙報告書の通り承認した。

<報告事項>

12月クリスマス例会はコロナ感染増加のため、中止とした。

<その他>

①2021-2022年度の会長は鳥越成代さんが引き受けてくださいました。その他三役も同時に決まりました。後日書面総会として全員にメールで承認をお願いした。

会長：鳥越 成代

副会長：吉田 明弘

書記：本川 悦子

会計：石井 元子

地域奉仕：神谷 幸男

高嶋美知子

会員増強：吉田 明弘

本川 悦子

国際・交流：神谷 幸男

村野 絢子

ユース：大野 貞次

担当主事：横山 弥利

WHO事務局：石井 元子

監事：本川 悦子

高嶋美知子

ブリテン：篠原 文恵

②東京西クラブ 45周年記念につ

いて：

記念祝会は開かないで記念献金をする案ができました。詳細はこれから話し合いをする。

②北九州クラブの宮川詩麻さんによるアニメ制作費のファンDVD制作プロジェクト費用募金へ、当クラブから1万円の寄付をした。

③京都ウエスト40周年記念例会(2月6日)には緊急宣言発令中のため、クラブとしては出席しない。会長がメッセージを送ることにした。

④1月号ブリテン編集会議：大野編集担当から提案がなされた。

⑤次期国際会長、アジア太平洋地域会長選挙に関して：審議の結果、篠原会長に一任した。

(書記・本川悦子)

会長報告

<今後の予定=例会関係=>

▼2月TOF例会

新型コロナウイルス感染者が高止まりしているため、四役で相談の上事務会と共に中止を決めた。

TOF個人献金は次回の例会で集める。

▼3月合同例会(恒例東京世田谷クラブとの合同例会)

東京世田谷クラブの朝倉会長との協議により、合同例会は中止とした。

当クラブの例会予定は後日判断する。

▼4月例会

卓話：恵泉女学園大学教授・藤田智さん(東京多摩みなみクラブ)による「プランター野菜づくり」について。

▼5月例会

1月例会に予定した鴨澤小織先生に再度お願いした。

<=例会関係以外=>

①在京クラブ新年会は、1月9日Zoomにて開催、17クラブの参加があった。

・2019年度会計報告了承。

・次年度ホストクラブは東京むかでクラブ。

・在京クラブ会長会は5月22日(土)、来年1月8日(土)午前に決定。

(会長・篠原文恵)

あずさ部Zoom評議会

2月13日(土)にあずさ部Zoom評議会が開かれます。四役は勿論、広く参加を求められていますので、是非出席して下さい。時間、PWは後日連絡します。

会計からのお願い

半期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先 みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ

☆ ☆インタビュー☆87☆
札 埜 慶一さんに聴く
 熱海クラブ



—いきなりですが、札埜さんのお仕事は、どういう内容ですか。

「Internet Service Provider」略して ISP の CEO (最高経営責任者) です。

—と云いますと。

「大手では OCN、BIGLOBE、NIFTY などがありますが、お客様にインターネット接続用の ID や企業向け、個人向けのレンタルサーバーを貸してその費用をいただいています。東日本区のホームページ、メール、メーリングリスト等もお預かりしています」
 —そのお仕事は、熱海でやるメリットが何かあるのですか。

「光回線さえあれば世界中どこでもできますが、できるだけ熱海に根付いて仕事をしたいので、企業、観光協会、旅館、商店などの紹介をし、売上に貢献をしていければと思っています」

—いつから始められましたか。

「30 年前に「インターネット IZU」を立ち上げてネットワークの世界にはまりました。当初は商工会議所、一太郎等と組んで『日本語検定試験会場、試験委員』等を開催、それを発展させ『学校向け教育ソフトを作成』し全国を飛び回っていました」

—現在の仕事に変わったのは。

「これからの世界はネットワークで繋がり中間業者は無くなり、生産者直の世界になっていくだろうと考えたからです」

—札埜さんは、熱海のお生まれ。

「熱海生まれの、温泉ボケ育ちですが、親父は淡路島の出身で海

賊か流人の子孫のようです」

—子どもの時はどんな子でした。

「小柄で丸坊主のクリクリ頭の少年でした。剣道と剣舞を小 3 から中 3 までやっていました」

—小学生時代に得意だったのは。

「わら人形を日本刀で切ること。好きな学科は 理科(実験)、嫌いな学科は数学。答えが一つしか無いからです」。

—高校の部活は。

「古典音楽部、重量挙げ部、自動車部にいました」

—大学は、ブルガリアですね。

「文部省交換留学生の試験にまぐれで受かってしまい、東欧のブルガリアに惹かれて国立ソフィア大学を選択しました。イコンの研究をしていました」

—ヒゲは、その頃からですか。

「日本人は幼く若く見られるので、対外国人の意味もあり留学して生やしました。外国人と臆せず話せました。それにソフィアは零下 40 度になり、鼻水も凍りますが、ヒゲがあるとヒゲが凍っても肌は凍らないのです」

—帰国して就職ですか。

「損保会社に入りました」

—ワイズは、いつ知りました。

「30 代の頃に熱海ワイズメンズクラブの卓話に呼ばれるまでワイズは知りませんでした。その後 36 歳の時に知り合いの弁護士さんに誘われて熱海ロータリークラブに 15 年ほど在籍しました」

—ワイズは、誰から。

「小学校の同級生で誕生日も同じ熱海クラブの大川貴久さんに誘われて 2006 年 9 月に入会しました。彼と栗本治郎さんの影響を大きく受けました」

—ワイズメンズクラブの印象は。

「卓話をした時、最初に聖句朗読、ワイズソングを聴いたときに帰宅しようかと思いました」

—ロータリーとは二足の草鞋。

「いいえ、熱海ロータリークラブは、会員が 50 人いましたが、ある時、出席率 100%を緩めてし

まい、数年後には、解散となりました。これは教訓です」

—これまでに、ワイズで記憶に残ることは何ですか。

「熱海クラブ会長の時、クラブ 50 周年記念例会がありました。東西ワイズメンはもとより、海外からも多数ご参加いただいたことを鮮明に覚えています。メンバーの協力で得た 800 万円の予算を使い切りました。その後、熱海クラブとしては 25 年ぶりのマニラダウタウンクラブとの IBC 締結をし、仙台で開催された第 28 回アジア太平洋地域大会で世界初のクラウドアングル (京都パレス、東京グリーン、マニラダウタウン、熱海クラブ) を締結しました。このようなことが短時間でクラブ内外の協力を得ながら出来るワイズは素晴らしいと感じました」

—今は、区でもご活躍中ですが考えられておられることは。

「若い世代に区理事などの要職を担当していただき、高い能力を持つ上の世代が補佐としてサポートしていくシステムができないとワイズの未来はありません。日本は八百万の神がいる国なので宗教戦争も無く、平和なのでその特徴を生かして世界に貢献する必要があります」

—趣味などは。

「現在はクレイ射撃でシューティングの腕を磨いています。日本クレイ射撃協会の師範代です」

—最後に、座右の銘は。

「最近、量子力学にはまっていて、Stephen William Hawking と Albert Einstein が亡くなる時に同じことをつぶやいたのがとても気になってます。

「God does not exist. we are just projections from multi-dimensional universe!」

—ここから思うのは、『世界は変えられる』この一言です」

—有難うございました。

(吉田明弘)

身近な人々① 村野絢子

西永福①

西永福に住んで 55 年、東京の福生出身の夫の父、秋田出身の夫の母、弟 2 人、妹そして夫の 6 人家族に長男の妻として住み始めた。新聞の運送会社の仕事場だった名残の車庫の 2 階で新生活を始めた。

八百屋・肉屋・魚屋・豆腐屋は毎日、酒屋・和菓子屋が週に 2~3 回、御用聞きに来てくれた。それでも肉屋のおばさんに「大勢の家族でたいへんだね」といわれ「楽しいです」と答えた。昨年、最後まで残っていた酒屋さんが惜しまれながら閉店した。ご主人は宅急便で送る焼菓子の適当な空箱を見つけては、「今日のは何処に送るの」と包装してくれた。その若夫婦も働き者で、街の様子に詳しく、親切で皆に慕われていた。雪の積もった翌朝、店の前だけでなく近くをせっせと夫婦で雪かきをしていた姿を覚えている。

変わって、わが家の 2 軒先は、著名な奥村土牛先生のお宅。ご家族はご夫妻と三男の正さん家族、別棟に三女の由紀子さん家族と大家族で仲良く過されていらした。いつだったか、横綱の「千代の富士」が、別な時には同じく横綱の「北の湖」が来訪されたことがあった。その時には、台所を明け渡して、材料持参、料理人のお弟子さんが付いて来られて、家族はもてなすのではなくご馳走になったとお聞きしてビックリした。お孫さん達が横綱の膝に座った写真を見せていただいた。今も親しくさせて頂いている奥村さんたちとの懐かしい思い出である。



YMCA Today

■新年明けましておめでとうございます。

ホテル学校は 1 月 5 日 (火) から授業が再開。先日、国家資格レストランサービス技能検定の合格発表がありました。67 人が挑んだ 8 月の筆記試験、その合格者が臨める 11 月末の実技試験の結果、49 人が合格。また、1 月 20 日 (水) に国家資格ブライダルコーディネーター技能検定 3 級試験に 20 人が受験をします。

■在日外国籍の子どもたちの学習などをサポートする「にじいろにはんごサポート」が東陽町コミュニティセンターで開始されました。初回の 11 月 7 日には、ボランティアの学生が歌やゲームを取り入れながら子どもたちの会話の練習をサポート。今後も宿題の手伝い等も含め、個々に合わせた支援を継続していく予定です。

■1990 年に開設された東京町田 YMCA が 30 周年を迎えた。当初は町田駅近くに拠点を構え、英会話スクールや国際キャンプなどの地域活動を行ってきたが、2003 年からは拠点をもちない

YMCA として、会員有志によって「ベテランティア・フォーラム (中高年ボランティア講習会)」や「歌声ひろば」「わくわく科学実験教室」などを実施している。12 月 14 日に町田市民フォーラムにおいて、長年ボランティアとして活躍されている 12 人に菅谷総主事から感謝状が贈呈された。

■ピンクシャツデー講演会「大人も学ぼう！ いじめの構造と解決策」が 1 月 30 日 (土) に行われます。講師：ストップいじめ！ ナビ弁護士チーム (金子春菜弁護士・足立悠弁護士) 会場：山手センター (オンライン参加もあり)

■「liby チャリティーコンサート」例年は阿佐ヶ谷教会にて開催していますが、今年度はオンラインもしくは、入場者を制限しての実施を 3 月 14 日 (日) に山手センターで開催の予定です。

(担当主事 横山弥利)

編集後記

小さな会話を入れさせていただけます。読売新聞の中にこんな詩を見つけました。保育園の先生から子ども達との会話です。

「こどもの詩」

「私のおばあちゃんね、お月様になったの」
「そうなんだね。じゃあ夜になったら、いつもあえるね」
「うん。でもたまに雲にかくれんぼしているの」

子どもたちのかわいらしい会話が多数寄せられていました。

私も幼稚園の子どもから、「よう先輩」と声をかけられ子ども達には勝てません。笑い。

毎日新型コロナウイルス感染症の拡大が収まらず、恐怖をおぼえつつ過ごす日々ですが、その中皆様から寄せられた記事により紙面が出来ましたことを、感謝いたします。(O・T)